



今こそ出発点

校長 田尻 勝敏

暖かな日差しが感じられる日が多くなり、春がすぐそこまで来ていると感じられるようになってきました。

過日、第58回卒業証書授与式を多くのご来賓、地域の関係者の皆様方のご臨席を賜り、挙行できましたことを、まずもってお礼申し上げます。多くの方々に見守られながら卒業する2名の姿を見て、改めて地域の方々の温かな愛情で包まれ晴れの日を迎えたことが感じられました。坂本翔くん、萬谷佳帆さん、卒業おめでとうございます。2人は諸先輩方と同様、本校の校訓「克己」を大切にし、働きながら厳しい環境に耐えて3年間勉学に励みました。その姿は素晴らしく賞賛に値するものであります。また、保護者の皆様、本当におめでとうございます。3年間子どもたちと共に重ねてこられた苦労も卒業証書授与式に臨む凜とした姿を見て報われたのではないのでしょうか。

式の中で卒業生の2人に次の言葉を贈らせてもらいました。

この言葉は、京都に有名な大徳寺というお寺があります。その中に大仙院という小寺がり、その玄関前に「今こそ出発点」と題して掲示されているものです。

人生とは毎日が訓練である わたくし自身の訓練の場である
生きている事を喜ぶ訓練の場である 今幸せを喜ぶこともなく
いつどこで幸せになれるか この喜びをもとに全力で進めよう
わたくし自身の将来は 今、この瞬間ここにある
今ここで頑張らずに、いつ頑張る

3年間、働きながらの学業は辛いとき苦しいとき投げ出したいときもあったと思います。しかし、じっと耐え、「今ここで頑張らずに、いつ頑張る」の精神で、この「天売高校」という場所を人生訓練の有効な場所とし、一步一步着実に夢に向かって努力を積み重ねてくれました。だからこそ夢を掴み取りスタートラインに立つことができたのです。今日を出発点と考え、「今ここで頑張らずに、いつ頑張る」の精神を忘れずに頑張りたいと話させてもらいました。グローバル化が叫ばれる中、私たちを取り巻く環境は、一層厳しいものになってきています。そのような社会だからこそ、自分の核にこの言葉をしっかりととどめ、さらなる成長をして活躍して欲しいと思います。

2人が最上級生としてまとめてくれた平成27年度は、特色ある教育活動と生徒募集活動が充実しました。多くの島民の方に支えられ実施した天売学や水産実習、全員が全道大会へ進出した定通体連、天売太鼓と天高ソーランをバージョンアップさせ大変盛り上がりを見せた天高祭、2年連続で全道に駒を進めた生活体験発表大会や優良賞を獲得した水産クラブ研究発表大会など、いつも活動の中心には2人がいました。これらの活躍は生徒にとって、学校にとって、地域にとって大きな財産となりました。卒業生が残してくれた財産は2人の在校生が受継ぎ、更に発展させてくれるはずで。新たな場所で頑張る2人は、今までとは視点を変え羽幌町、天売島、そして天売高校の未来のことを考えてきて欲しいと思います。

終わりに、本校の教育活動にご理解とご支援をいただいています教育振興会、同窓会、PTAの皆様を初めとする地域の方々のご厚情に感謝申し上げます、卒業の報告といたします。



校内レク・球技大会

2015年の締めくくりは盛り上がりました!

12月22日に校内レク・第2回球技大会が行われました。今回は2年生が中心となって企画を考え、当日の運営を行いました。校内レクではビンゴを使ったプレゼント交換から始まり、その後はチームに分かれてクイズや定番SHOWで楽しみました。球技大会では校内レクと同じチームでミニバレーとフットサルを行い、全員が全力でプレーして大いに盛り上がりました。準備では計画通り進まず苦労したこともありましたが、当日はスムーズに進行して怪我なく終えることができました。



天高生の誇りを胸に

卒業生 坂本 翔

3年前の春、私は慣れないスーツを着て入学式に行きました。時間を間違えて遅刻してしまい、佳帆と三宅先生に「何してんの！」と言われた記憶が蘇ります。



初めの頃は働きながら高校に通うという生活に慣れず、疲れが溜まっていきました。しかし、学校に来てみんなと何気ない会話をすると、辛いと思っていた気持ちもなくなっていきました。

天売高校は、私に全ての基礎を教えてくれた場所です。勉強の大切さ、目標に向かって頑張ること、人のために全員で協力し成し遂げる力、そして、仲間の大切さを学びました。

少人数だからこそ、一人ひとりの全てを見ることができました。ぶつかり合い、嫌になったこともありました。私はここで、大事な仲間を作ることができました。

最後に、先生方や各行事で支えてくれた島民の皆様には大変お世話になりました。4月からは羽幌町の役場職員として働きます。天売高校で培った経験を生かし、地元のため頑張りたいと思います。いつか島に戻ってきたときはまた、よろしくお願ひします。

天売高校での3年間

卒業生 萬谷 佳帆

天売高校に入学して、あっという間に3年が経ちました。忙しくもあり、楽しくもあり、充実した学校生活を送ることができたと思っています。入学した当初はとにかく「慣れる」ことが自分にとって最優先でしたが、「3年間やっていけるのか」という不安はありませんでした。小さい頃から一緒だった先輩や、よく知った先生がいたことがとても大きかったです。



楽しかったのは1年と、2年。3年時にももちろん楽しい思い出はたくさんありますが、思い悩んだことの方が印象強く残っています。進学するのか、就職するのか。こんなに考えて、悩んで、時間をかけても決めきれないことがあるのだと、生まれて初めて実感したように思います。たくさんの方に心配をかけて、アドバイスをいただき、決断した時は清々しい気持ちだったことを覚えています。

最後に、私を支えてくださった先生方、友達、島民の方々、そして家族。本当にお世話になりました。これからも自分の決めた夢、目標を追い続け、精一杯頑張ります。

祝 卒業

卒業生担任 清水 健志

坂本翔君、萬谷佳帆さん、そして保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。また、学校生活を色々な面で支えて頂いた保護者の皆様をはじめ地域の皆様には厚く御礼申し上げます。

三宅先生の後を引き継ぎ、2年生から担任を持つことになったため、2人とは担任としてのつきあいは2年間だけでした。突然のバトンタッチに最初は戸惑いましたが、2人の協力もあり、なんとか卒業まで一緒に駆け抜けることができました。日々の学校生活や生徒会活動、そして受験対策などを通じて、2人とも大きく成長しました。第一希望の進路実現を果たした2人は、次のステージへのスタートラインに立つこととなります。これからは周囲への感謝を忘れず、自分の意志で行動し、様々な困難を乗り越え、さらに大きく成長してくれることを期待しています。



体協バドミントン大会

体協卓球大会に参加

11月28日に体協バドミントン大会が、12月5日に体協卓球大会が天売小中学校体育館で開催されました。今年度も多くの島の方々が参加し、優勝を目指してどのチームも全力でプレーしていました。時には子どもたちが大人に勝つ試合も見られ、会場全体が大いに盛り上がることもありました。熱戦が繰り広げられた結果は次のとおりで、バドミントンでは優勝が愛好会A、2位が天売中学校バドミントン部、3位が天高バドミントン部で、卓球では優勝がよっぴいチーム、2位が卵っこ(こっこ)チーム、3位が天高卓球部となりました。



体協ミニバレー大会

優勝は愛好会チーム！

今年は近年最多の10チームが参加した体協ミニバレーボール大会ですが、全チーム総あたりを行い大いに盛り上がりました。中でも、女性だけで組まれた「Love & Peace・Girl's」チームが破竹



の6連勝と男性相手に力負けをせず、会場を大いに盛り上げてくれました。最後に力尽きはしたものの、女性だけの単独チームで第3位と輝かしい成績を収めました。優勝争いは混戦となり、8勝1敗と並んだ「天売高校」チームと「愛好会」チームの勝負となりましたが、得失点差の末に3点差で「愛好会」チームの優勝となりました。平成27年度体協行事最後の大会となりましたが、最後にふさわしい白熱した1日となりました。